

代表的な虫の種類

家庭で保存食品の貯蔵が増えたことにより、保存食品をねらう虫が増えています。ここでは、一般的な家庭の保存食品につきやすい、代表的な6種類の虫についてご紹介します。

乾燥したものはほとんどのものを食べる!



シバンムシ類

シバンムシ類は、日本国内には79種類が知られ、各地に広く分布しています。代表的なものに、「タバコシバンムシ」や「シンサンシバンムシ」がいます。

〈タバコシバンムシ〉



(食べものの好み)
乾燥薬タバコにつきやすく、菓子類や穀類、粉類、乾燥果実、香辛料、ペットフードなど、あらゆる乾燥植物質をエサとします。

(生活史)

- 卵期間 6~8日
- 成虫寿命 10~25日
- 幼虫期間 30~40日
- 産卵数 約110個
- さなぎ期間 5~7日

穀物やその加工品に多く発生!



ヒラタムシ類

ヒラタムシ類の多くは野外性で、樹皮下に生息するものが多く、他の小昆虫をエサとしています。一部は貯蔵穀類(特に穀粉)につく虫として知られています。

〈ノコギリヒラタムシ〉



(食べものの好み)
穀粉加工品につく虫として知られ、穀物やその加工品である菓子類、干しブドウ、ピーナッツ、ケーキ、チョコレートなどに発生します。

(生活史)

- 成虫寿命 数ヶ月~1年以上
- 産卵数 100~300個

暗所に置かれた穀物に注意!



コクゾウ類

コメ、ムギ、トウモロコシなどにつく虫として世界的に知られており、日本においては「コメの虫」として江戸時代から知られています。

〈コクゾウムシ〉



(特徴)
体長 2.3~3.5mm程度。体色は褐色~濃褐色で、ソウの頭のような長い口吻(こうぶん)が特徴。メスは穀粒表面に産卵する。ふ化した幼虫は穀粒内で成長してさなぎとなり、羽化後、穀粒表面を破壊して脱出する。

(食べものの好み)
成虫、幼虫ともコメ、ムギ、トウモロコシなどの穀粒を食べます。

(生活史)

- 卵期間 約5日
- 幼虫期間 約20日
- さなぎ期間 約5日
- 成虫寿命 約4ヶ月
- 産卵数 約200個



アズキを入れた袋や容器に大発生!



マメゾウムシ類

マメ科植物の種子にもぐり込む虫で、約20種が食用マメ類を食べることで知られています。下記の「アズキゾウムシ」や「エンドウゾウムシ」「ソラマメゾウムシ」「ヨツモンマメゾウムシ」「インゲンマメゾウムシ」が貯蔵マメ類につく虫としてよく知られています。

〈アズキゾウムシ〉



(食べものの好み)
貯蔵豆だけで生活を繰り返すことができ、貯蔵アズキに最もつきやすい虫として知られています。

(生活史)

- 卵期間 約5日
- 幼虫期間 約20日
- さなぎ期間 約7日
- 成虫寿命 約10日
- 産卵数 50~60個



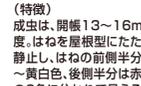
インスタント食品や菓子の包装を食い破って侵入!



メイガ類

メイガ類は、その多くは野外性の方で、農業害虫として知られているものも少なくありません。また、メイガの仲間の幼虫には、貯蔵穀類や穀粉、その加工品などを食べる虫もあり、その代表が「ノシメダラメイガ」です。

〈ノシメダラメイガ〉



(特徴)
成虫は、開帳13~16mm程度。はねを屋根型にたんで静止し、はねの前側半分は灰~黄白色、後側半分は赤褐色の2色に分かれて見える。幼虫は、頭は黄褐色、胴部は淡黄白色。大量の糸を吐き、どんなエサを食べても暗赤色の糞をすく。

(生活史)

- 卵期間 数日
- 幼虫期間 22~45日
- さなぎ期間 1週間前後
- 成虫寿命 1~2週間
- 産卵数 約200個

乾燥食品を好み、湿気の高いところでよく発生!



チャタテムシ類

チャタテムシ類の大部分は、菌類を主な栄養源として野外で生活しています。一部の種は人家内に侵入し、暗所と湿気を好みます。カビの生えたところに多く発生し、カビの生えやすい食品につきやすい虫です。

〈チャタテムシ〉



(特徴)
体長 1mm~5mm以下。成虫は淡褐色。体は扁平でやわらかい。幼虫は白色で、成虫に似た形状。翅(はね)が退化した種も少なくない。

(食べものの好み)
貯蔵食品(乾燥食品)や、壁、ダンボール箱、畳、ソバ酸などに発生し、カビ類を食べます。

(生活史)

- 卵期間 約11日
- 若虫期間 約15日
- 成虫寿命 約6ヶ月
- 産卵数 約200個